

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	湯田中区支え合い(防災)マップ作成事業
事業主体 (連絡先)	山ノ内町 湯田中区 (0269-33-2400)
事業区分	(4) 安心・安全な地域づくりに関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	808,900円(うち支援金:645,000円)

事業内容

- 1、事業の準備(平成26年度)
区会での検討、関係機関(町、消防署等)との協議勉強会。区内への啓発と周知(組長会での了承、総会での説明チラシ配布等)
- 2、事業の実施
 - ・区内全戸に対し13組の総会での承認を得る
 - ・災害時支援希望者登録について周知、書類配布
 - ・防災マップの内容の検討および関係機関と協議内容の修正等
 - ・申請書の取りまとめ、支え合いマップ作成作業
 - ・防災マップの印刷、配布



【支え合いマップ作業】

【目標・ねらい】

事業効果

- 1、危険箇所の認識 区内各所のある危険箇所が従来の防災マップよりもはるかにわかりやすくなった。
- 2、避難場所の周知 各組ごとに避難場所がきまったことにより、災害時の避難が円滑に行われることを期待したい。
- 3、避難基準の周知 夜間瀬川の危険水位を明記し、避難の判断基準を明確にした。
- 4、共助意識の醸成 支援希望者登録や支え合いマップの作成作業を通じて、地域内で助け合う意識を高めることができた。
- 5、防災意識の啓発 この2年間の活動を通して区内の住民の皆さんに少なからず防災について考えたり、活動したりする機会を提供できた。

- ①地域の危険箇所の認識
- ②避難場所の特定
- ③避難基準の周知
- ④共助意識の醸成
- ⑤防災意識の啓発

※自己評価【B】

【理由】 一番の目的は、災害時の住民の安全を守ることなので、その点は一定の効果はあると評価するが、今後はこれを活かしてさらに発展させる余地がある。

今後の取り組み

今回作成された、各組ごとの「支え合いマップ」と全戸に配布した「湯田中区防災マップ」を基にして、実際に起こりうる災害を想定した、防災・避難訓練等の実施、避難所の運営等の訓練につなげ、住民の防災意識のさらに高める活動に役立てていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある